



2023年3月期第3四半期決算説明資料



2023年1月31日
メタウォーター株式会社

<セグメント情報>

- プラントエンジニアリング事業(略語:PE事業):国内EPC事業、海外事業
当セグメントでは、浄水場内の浄水プロセス、下水処理場内の下水処理プロセス、汚泥処理プロセス、燃料化プロセスに使用する機械設備の設計・建設と、それらを運転、監視、制御するための電気設備の設計・建設を核とした各種エンジニアリングを主たる業務としています。
- サービスソリューション事業(略語:SS事業):国内O&M事業、国内PPP事業
当セグメントでは、浄水場、下水処理場、ごみ処理施設・リサイクル施設向けの機械設備や電気設備の補修工事、運転・維持管理(保守・点検)、運営などの各種サービスを主たる業務としています。

<語句説明>

EPC	Engineering, Procurement and Construction:設計・調達・建設
O&M	Operation and Maintenance:運転・維持管理
PPP	Public-Private Partnership(公民連携):公共サービスの提供に民間が参画する手法
PFI	Private Finance Initiative:公共施設の設計・建設、運転・維持管理、運営、資金調達に民間を活用する公共事業の手法
DBO	Design, Build and Operate:公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する公共事業の手法
コンセッション	公共施設の所有権と事業経営の認可を公的機関に残したまま、民間企業に事業運営権を長期間にわたって付与する手法

I 2023年3月期第3四半期決算ハイライト

II 2023年3月期通期連結業績予想

III 2023年3月期第3四半期決算概要

I 2023年3月期第3四半期決算ハイライト

II 2023年3月期通期連結業績予想

III 2023年3月期第3四半期決算概要

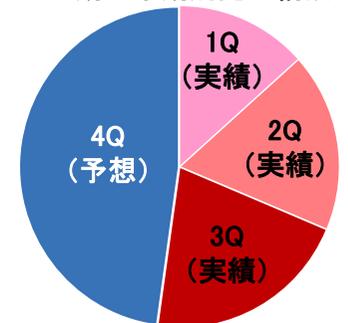
'23/3期3Q 決算ハイライト（連結）

* 受注高

EPC事業、海外事業については前期を上回ったが、前期はPPP事業において大型案件の受注があったことなどから、**前期実績を下回った**。

(参考) 受注残高：'22/3期3Q末2,250億円 ⇒ '23/3期3Q末 2,309億円(+58億円)

'23/3期四半期別売上構成



* 売上高・利益

当3Qは、原材料価格上昇の影響を受けたものの、北米子会社が順調に推移したほか、PPP事業において株式会社みずむすびマネジメントみやぎが順調に推移したことなどにより、**売上高、各利益ともに前期を上回った**。なお、経常利益には、円安影響による為替差益約5.5億円を含む。

注) 当社グループの事業は、国内公共事業が大半を占め、売上、利益が4Qに著しく偏るため、例年 3Q累計期間の業績は低い水準となる傾向があります。

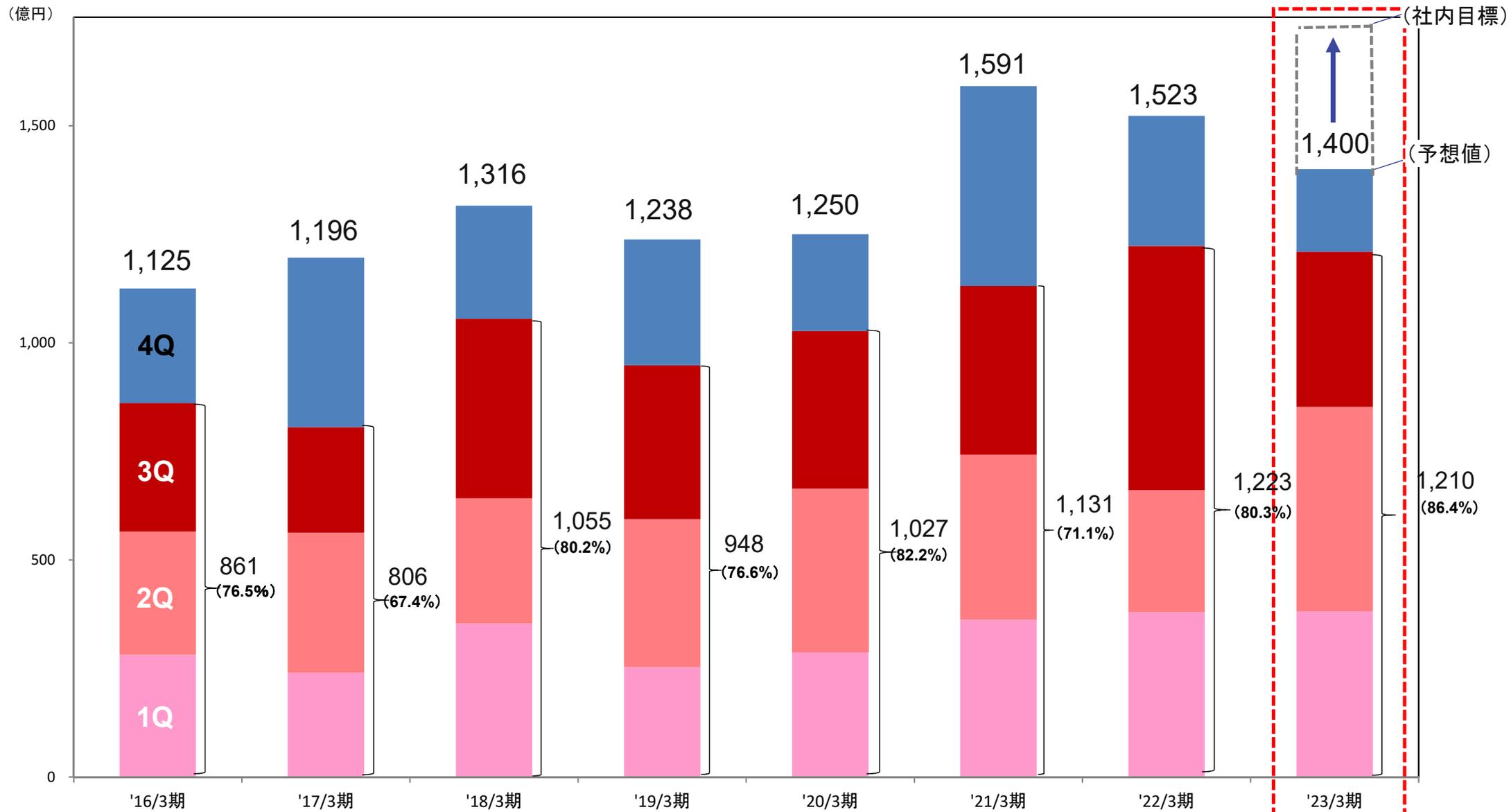
(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり配当金(円)
'23/3期3Q累計 実績	1,210	777	-20	-14	-13	第2四半期末 20
	前期比: ▲13 -1.1%	前期比: +112 +16.7%	前期比: +6	前期比: +10	前期比: +5	
'22/3期3Q累計 実績	1,223	666	-26	-24	-18	20

※10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

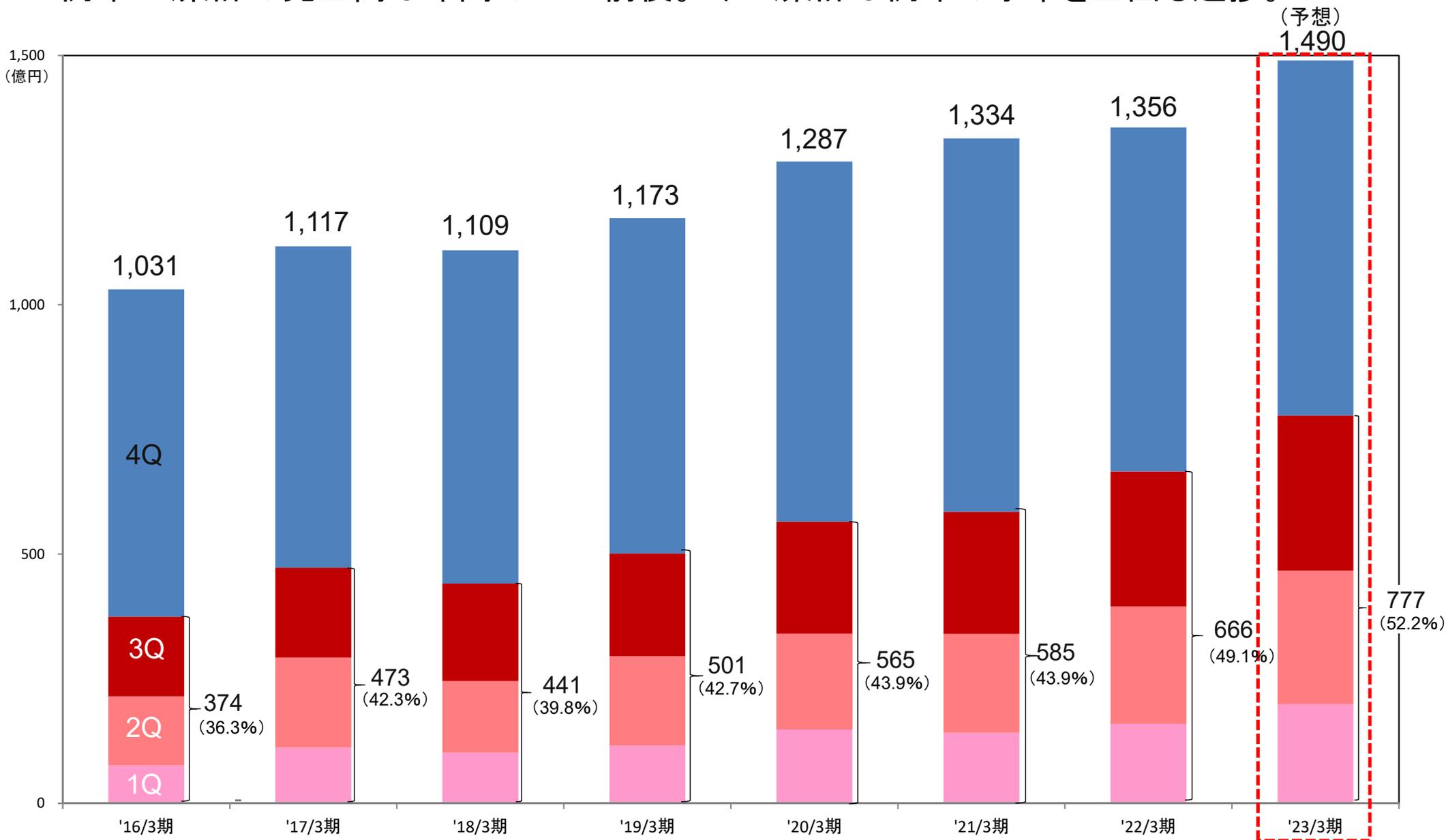
'23/3期3Q 受注高推移（連結）

3Q累計は高水準で進捗、通期では過去最高の受注高を目指す。



'23/3期3Q 売上高推移（連結）

例年3Q累計の売上高は年間の40%前後。当3Q累計は例年の水準を上回る進捗。



事業活動

- * 大阪府堺市「石津水再生センター用水設備更新工事」において「ディスク式特殊長毛ろ布ろ過装置」（商品名：クロスメディアフィルター）が国内初採用（10月）
- * 「PFOS・PFOA吸着処理システム」を前田建設工業株式会社と共同開発（11月）
- * コーポレート・ガバナンス強化（流通株式の拡大）を目的とする株式需給緩衝信託[®]の設定を決議（11月）

その他の主な活動

- * 宮城県女川町の秋の一大イベント「おながわ秋の収穫祭2022」に協力（10月）
- * 一般社団法人日本IR協議会の「IR優良企業賞2022」において「“共感！”IR賞」を受賞（11月）
- * 「エコプロ2022」において「水をめぐる大冒険実行委員会」ブースに協賛（12月）

（参考）

- * 英国 イングランド チャーチ・ウィルン浄水場向けセラミック膜を受注（1月30日広報発表）

I 2023年3月期第3四半期決算ハイライト

II 2023年3月期通期連結業績予想

III 2023年3月期第3四半期決算概要

'23/3期通期連結業績予想

■ 足下の状況

- ・サプライチェーン停滞による必要部材の長納期化、他社工事(土建・機械設備)遅れによる当社への影響、燃料費高騰による運転維持管理現場におけるユーティリティコストの増加など、**外部環境に起因するリスクが高まっている。**

■ 対応と見極め

- ・成長分野である海外事業において、**北米を中心とした連結子会社が好調に推移**しているほか、PPP事業では「株式会社みずむすびマネジメントみやぎ」が**順調に推移**。
- ・長納期化した必要部材の確保、工事進行基準による売上の徹底、コストダウン、経費削減などを更に推進することにより、**通期業績への影響を見極める。**
⇒**2023/3期通期連結業績予想は変更なし。**

'23/3期通期連結業績予想

(億円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)	年間配当(円)	
'23/3期 予想 (2022/4/27付)	1,400 前期比:▲123億円 ▲8.1%	1,490 前期比:+134億円 +9.9%	93 前期比:+12億円 +14.2%	93 前期比:+5億円 +6.3%	63 前期比:+1億円 +0.9%	144.53	20	20
	—	—	利益率: 6.2%	利益率: 6.2%	利益率: 4.2%	—	—	—
'22/3期 実績	1,523	1,356	81	88	62	143.39	20	20
	—	—	利益率: 6.0%	利益率: 6.5%	利益率: 4.6%	—	—	—



目次

I 2023年3月期第3四半期決算ハイライト

II 2023年3月期通期連結業績予想

III 2023年3月期第3四半期決算概要

Ⅲ 2023年3月期第3四半期決算概要

- 1 連結損益計算書
- 2 セグメント別概況(連結)
- 3 連結貸借対照表
- 4 連結キャッシュ・フローの状況

連結損益計算書

(億円)

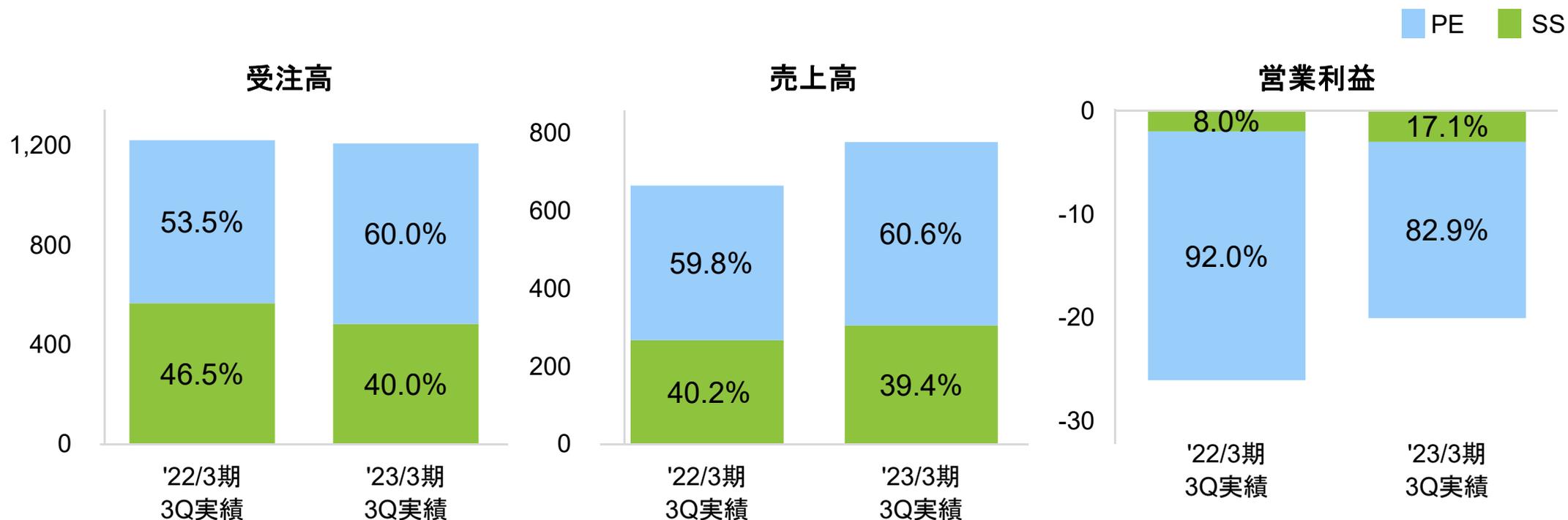
	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増 減
売 上 高	666	777	+112
営 業 利 益	-26	-20	+6
(営 業 利 益 率)	-4.0%	-2.6%	+1.4%
経 常 利 益	-24	-14	+10
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-18	-13	+5

* 10百万円単位を四捨五入(以降の実績値も同様)

セグメント別概況（連結）

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増減	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増減	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増減
プラントエンジニアリング事業	655	726	+70	398	472	+73	-24	-17	+8
サービスソリューション事業	568	484	▲84	268	306	+38	-2	-3	▲1
合計	1,223	1,210	▲13	666	777	+112	-26	-20	+6



セグメント別概況（連結）

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増 減	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増 減	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増 減
プラントエンジニアリング事業	655	726	+70	398	472	+73	-24	-17	+8
サービスソリューション事業	568	484	▲84	268	306	+38	-2	-3	▲1
合計	1,223	1,210	▲13	666	777	+112	-26	-20	+6

プラントエンジニアリング事業

【受注高・受注残高】

受注高は、EPC事業、海外事業ともに前期を上回った。
(受注残高: '22/3期3Q末 1,247億円 ⇒ '23/3期3Q末 1,400億円)

【売上高・営業利益】

・EPC事業は、売上高は前期を上回ったが、一部大型案件の粗利率の違いなどにより営業利益は前期を下回った。
・海外事業は、米国子会社の業績が順調に推移したことなどにより、売上高および営業利益ともに前期を上回った。

サービスソリューション事業

【受注高・受注残高】

受注高は、前期を下回った。
(受注残高: '22/3期3Q末 1,003億円 ⇒ '23/3期3Q末 908億円)

【売上高・営業利益】

・O&M事業は、売上高および営業利益ともに前期を下回った。
・PPP事業は、株式会社みずむすびマネジメントみやぎを連結したことなどにより、売上高および営業利益ともに前期を上回った。

連結貸借対照表

(億円)

	'22/3期 期末実績	'23/3期 3Q末実績	増 減
現金・預金	213	154	▲59
売上債権・契約資産	774	525	▲249
棚卸資産	80	189	+109
その他	23	70	+47
流動資産計	1,089	938	▲151
有形固定資産	45	54	+8
無形固定資産	105	124	+19
繰延税金資産	28	22	▲5
その他	63	112	+49
固定資産計	241	313	+71
総資産計	1,331	1,251	▲80

	'22/3期 期末実績	'23/3期 3Q末実績	増 減
買入債務	380	209	▲171
短期借入金 ^{*1} ₍₉₎	18	₍₉₎ 50	+32
契約負債	75	151	+76
その他	97	65	▲32
流動負債計	570	475	▲95
長期借入金 ^{*2} ₍₉₇₎	106	₍₁₁₂₎ 112	+5
その他	59	57	▲2
固定負債計	165	169	+3
負債計	735	644	▲92
純資産計	595	607	+12
負債・純資産合計	1,331	1,251	▲80

*1 *2 : カッコ内の数値はPFI等プロジェクトファイナンス・ローンの金額

連結キャッシュ・フローの状況

(億円)

	'22/3期 3Q実績	'23/3期 3Q実績	増 減
現金・現金同等物の前期残高	180	206	+26
営業キャッシュ・フロー	66	-12	▲79
投資キャッシュ・フロー	-16	-76	▲60
フリー・キャッシュ・フロー	50	-89	▲139
財務キャッシュ・フロー	-26	31	+57
現金・現金同等物に係る 換算差額等	0	0	+0
現金・現金同等物の期末残高	204	148	▲57

ディスクロージャーポリシー

1. 基本方針

当社グループは、企業理念に基づき、社会とともに持続的な発展を遂げるため、すべてのステークホルダーの皆様の期待にお応えし、社会から信頼され、社会に貢献し続ける企業グループを目指します。この考え方にのっとり、当社グループは、ステークホルダーの皆様や社会に対して当社グループに係る企業情報を公正・公平かつ適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ることにより、当社グループに対する理解促進を図り、透明性・信頼性の高い経営に努めます。

2. 情報開示の基準

会社法、金融商品取引法などの諸法令および金融商品取引所の定める規則などにより開示が求められる企業情報について、それぞれの法令や規則などにのっとり、情報開示を行います。また、法令や規則などに該当しない企業情報であっても、ステークホルダーの皆様にも有用であると判断される情報や社会的に開示が必要と判断される情報について、可能な限り積極的に情報開示を行います。

3. 情報開示の方法

上記の法令や規則などにより開示が求められる企業情報については、それぞれの法令や規則などで定められた方法により情報開示を行うとともに、当社ホームページに掲載します。上記の法令や規則などに該当しない企業情報については、その重要性や緊急性を考慮し、報道機関や当社ホームページなどを通じて情報開示を行います。

4. 情報開示後のコミュニケーション

開示した情報に関して、会見、説明会、取材、問い合わせへの回答などを通じ、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションを図ります。また、コミュニケーションを通じてステークホルダーの皆様からいただいたご意見などは、当社グループ内で共有し、今後の参考とさせていただきます。

5. 沈黙期間

決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算（四半期決算を含む）期末日の翌日から決算発表までを沈黙期間とします。沈黙期間中は、業績予想の修正に関する情報開示を行った場合を除き、決算・業績見通しに関する会見、説明会、取材、問い合わせへの回答など差し控えます。

6. 将来の見通しについて

当社グループが開示する業績予想、戦略、目標などのうち将来の見通しに関する記述は、当社グループがその時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提を根拠としており、実際の業績などは様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

7. 社内体制の整備

ディスクロージャーポリシーを遵守し、適切な情報開示およびステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが図れるよう、社内体制を構築するとともに社内規程を整備します。



【本資料に関するお問い合わせ先】

メタウォーター株式会社 コーポレートコミュニケーション室 コーポレートコミュニケーション部

Tel:03-6853-7317 Fax:03-6853-8709 E-mail:pr@metawater.co.jp

補足資料 案件リスト

工事受注(10億円規模以上)

	案件名	都道府県	セグメント
1Q	芝原浄水場及び場外施設電気計装設備更新工事	福島県	PE
2Q	南部汚泥処理プラント汚泥焼却電気設備再構築その3工事	東京都	PE
	南部汚泥処理プラント汚泥処理電気設備再構築その6工事	東京都	PE
	新河岸水再生センター汚泥焼却設備再構築その3工事	東京都	PE
	新河岸水再生センター汚泥脱水設備再構築その5工事	東京都	PE
	森ヶ崎水再生センター(東)反応槽機械設備再構築その4工事	東京都	PE
	新小岩ポンプ所受変電設備再構築工事	東京都	PE
3Q	琵琶湖東北部浄化センター電気設備工事その31	滋賀県	PE

受注(海外)

	案件名	国	セグメント
2Q	ハンプトンロード浄水場向け セラミック膜	英国	PE
	チャーチ・ウィルン浄水場向け セラミック膜	英国	PE
	城北下水処理場向け オゾン発生システム	中国	PE